

均質な苗生産のための 省力的な育苗管理技術の実証研究

技術の概要

底面給水マットを利用して苗の灌水管理を行うことにより、苗管理の省力化、水の跳ね上がりによる病害の拡大を防ぐことができます。

頭上手灌水



多大な作業時間
不均質な苗

底面給水マットを利用した灌水



イチゴ、トマト、キュウリ
において、底面給水による
育苗試験を実証。



作業の省力化！
病害拡大を防ぐ！

期待される効果

- ・イチゴ、トマト、キュウリにおいて、頭上手灌水と同程度の生育が確保できます。
- ・底面給水マットとタイマーを組み合わせることで灌水作業の自動化が可能となるため、灌水作業に係る時間を省力化できます。
- ・底面給水マットによる灌水を行うことで、水の跳ね上がりによる病害拡大を抑制する効果が期待できます。

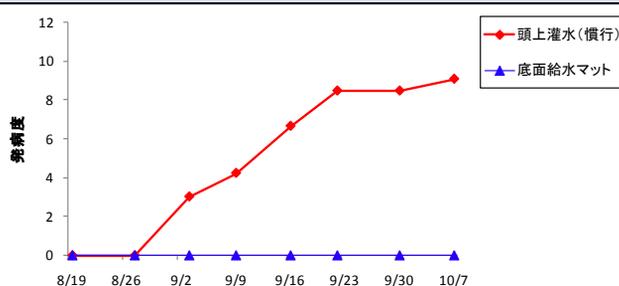
灌水作業時間の比較

処理	1000株の灌水に要する時間(分)		
	キュウリ	トマト	イチゴ
底面給水マット	0	0	0
頭上手灌水	66.2	151.4	420.0

※1 頭上灌水区は実証生産者による手灌水で、底面給水マット区は自動灌水である。

※2 処理期間はキュウリ 15日間、トマト 15日間、イチゴ 56日間である。

灌水方法の違いによるイチゴ炭疽病度の推移



苗産業ふくしま復興コンソーシアム

【お問い合わせ先】 福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

TEL : 024-958-1724